



会礼校長講話「豊岡中に失敗はない」

令和3年5月12日(水)

今日は5月12日です。5月12日は何の日か知っていますか。イギリスの看護師、ナイチンゲールの誕生日に因んで「国際看護師の日」です。コロナ禍の今、世界中の看護師の皆さんが、献身的に看護に励んでくださっています。今、私たちにできることは、体調管理と感染対策をしっかりと、看護師の皆さんの負担を少しでも減らすことです。

さて、9日の日曜日に、東京オリンピックに向けた陸上のテスト大会が国立競技場で行われました。私の注目は何といっても男子100メートルです。皆さんはテレビを観たでしょうか。桐生、多田、小池、ケンブリッジ飛鳥、そして、アメリカのガトリンといったトップアスリートが出場するので、とても楽しみにしていました。

ところが、テレビをつけると、桐生選手が予選でフライングし失格となったと知り、びっくりしました。その後のインタビューで、桐生選手は「やってはいけないミスをしてしまった。この大会に合わせて調整してきて調子も上がっていたが、急ぎすぎてしまった。叫びたいぐらい悔しい。今日は自分を責めて、また改善できるように練習していきたい」と話したそうです。その報道を見て、私はある言葉が頭に浮かびました。それは、前に勤務していた観音山少年自然の家につながる言葉、『観音山に失敗はない』です。

桐生選手は、自分の失敗が悔しくて、眠れない夜を過ごしたことと思います。まさに、大「Pinch」です。その後の桐生選手を想像してみてください。しょんぼりした日々を過ごすのでしょうか。次のレースから思い切ったスタートができなくなってしまうのでしょうか。いや、きっと違います。何がいけなかったのか、同じ失敗を繰り返さないためにはどうしたらいいのかをしっかりと考え、次への一步を踏み出すに違いありません。これこそ、次への「Challenge」チャレンジ、挑戦です。そして、改善点を修正し、さらにスケールの大きな選手に成長していく。「Change」チェンジ、変化です。そんな桐生選手の様子が想像できませんか。『ピンチは「Chance」チャンス』とは、こういうことなのだと思います。

何かに挑戦しない人は失敗もしないかもしれませんが、しかし、目標に向かって挑戦すれば、失敗することもあると思います。失敗することは辛く悔しいですが、それを次へのバネにしてまた挑戦、その繰り返しで、何かがきっと変わっていきます。「観音山に失敗はない」とは、そういう意味です。

皆さん、『豊岡中に失敗はありません。』『4つのCH』を大切に、たくましく挑戦する豊岡中生徒の皆さんを応援しています。

令和3年度の教育活動のポイント

今年度から新学習指導要領が完全実施します。また、あらゆる分野において新型コロナウイルス感染拡大防止を念頭におきながら教育活動を止めない

ことが大切となります。何回に分けて今年度の取組をお知らせいたします。

1 新学習指導要領に対応した生徒の学力向上 ※次回、再度掲載します。

- 目指す資質・能力（・知識及び技能、・思考力、判断力、表現力、・学びに向かう力、人間性）を育成していくための授業改善を目指します。
- 授業改善に向け、校内研修の充実、教材研究のための時間の確保や定期テスト、単元テストの見直しや有効活用を図ります。また、週あたり授業時数の見直し、月曜部活動無しにより生徒が主体的に活動したり、学んだりする時間を確保します。
- 「働き方改革関連法」に基づき、教員の時間外勤務原則月45時間以内を目指した改革を実践し、自己研鑽する時間の確保を目指します。

2 生徒の生命・健康の安心・安全を強化・最優先した学校生活の実現

- 教職員を対象にAED及び人工呼吸法講習会を実施します。
- 多様な生徒の疾病・アレルギー等の体質状況に合わせた校内対応を全職員で共通理解・共通実践します。また、学校給食センターと連携した食事対応、エピペンの管理と実技講習を実施します。
- 磐田署から講師招聘し、全校生徒対象の交通安全講習会を実施します。
- 熱中症等の対策として、水筒の常時携帯やこまめな水分補給の指導、エアコン・扇風機の適正な活用を実施します。
- コロナ感染防止対策として、検温・手指消毒・マスク着用の指導、消毒作業を徹底すると共に、3密を回避し、工夫した取組を実践します。

3 道徳教育の成果を学校生活全体に生かした取組

- 道徳研究の成果を生かして、生徒一人一人のよさを認め励ます指導を実践します。
- ハイパーQU（よりよい学校生活と友達づくりアンケート）結果を専門スタッフと分析して生徒理解を深めるとともに、得られた知見を教育相談や保護者面談等で生徒・保護者に伝え、生徒の成長に生かします。

4 学校行事

- 文化的、健康安全・体育的、勤労生産・奉仕的行事は、可能なことを模索しながら実践していきます。

5 地域人材の活用

- コミュニティースクール推進事業を活用して、生徒を育成します。
- 総合的な学習の時間や進路講座等における講師や体験場所を確保します。
- 花壇管理・家庭科実習・中庭・築山整備ボランティアの協力を要請します。

6 部活動

- 部活動の意義・目的を把握し、ガイドラインに沿って運営します。
- 生徒の豊かな人間形成を目指し、生徒の自主的・自発的な活動を適切に支援します。また、けがリスク低減のため休養日を確保するとともに、短時間（1日の活動時間：平日は2時間程度、休業日は3時間程度）で効果が得られるよう、活動内容を工夫します。